

令和 6年 6月 27日

広域振興局長

提出者

住所 〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号

氏名 公益財団法人岩手県予防医学協会

会長 本間 博

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	公益財団法人岩手県予防医学協会	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	900 kJ	* 施設番号	
自動車の使用台数	107 台		
二酸化炭素の排出の状況			
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況	別紙のとおり。		
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

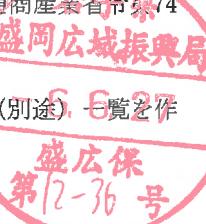
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
公益財団法人岩手県予防医学協会	〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号	kJ
公益財団法人岩手県予防医学協会県南センター	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根前野209番地1	kJ
		kJ

備考 1 *印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別途一覧を作成の上、添付してください。

(A 4)



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(R5)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)				
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		数値 C	単位								
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	熱量(GJ) D										
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL									
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL									
揮発油(ガソリン)	109.35	kL	3,652		kL		3,652	250	264	-13				
ナフサ		kL			kL									
ジェット燃料		kL			kL									
灯油		kL			kL									
軽油	224.41	kL	8,528		kL		8,528	588	565	23				
A重油	71.00	kL	2,762		kL		2,762	195	226	-31				
B・C重油		kL			kL									
石油アスファルト		t			t									
石油コークス		t			t									
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	9.52	t	477	t		477	29	31	-2				
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³									
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t									
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³									
化石燃料	輸入原料炭		t		t									
	原料炭		t		t									
	吹込用原料炭		t		t									
	一般炭	輸入一般炭		t	t									
		国産一般炭		t	t									
	輸入無煙炭		t		t									
石炭コークス		t		t										
コーカルタール		t		t										
コークス炉ガス		千m ³		千m ³										
高炉ガス		千m ³		千m ³										
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³										
転炉ガス		千m ³		千m ³										
	都市ガス	58.22	千m ³	2,620	千m ³		2,620	3		3				
その他の燃料	()													
	()													
非化石燃料	黒液		t		t									
	木材		t		t									
	木質廃材		t		t									
	バイオエタノール		kL		kL									
	バイオディーゼル		kL		kL									
	バイオガス		千m ³		千m ³									
	その他バイオマス		t		t									
	RDF		t		GJ/t									
	RPF		t		GJ/t									
	廃タイヤ		t		GJ/t									
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t									
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t									
	廃油		kL		GJ/kL									
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³									
熱	混合廃材		t		t									
	水素		t		t									
	アンモニア		t		t									
	その他燃料()													
小計 ①							18,039	1,065	1,086	-20				
産業用蒸気		GJ		GJ										
産業用以外の蒸気		GJ		GJ										
電気	温水		GJ		GJ									
	冷水		GJ		GJ									
	地熱		GJ		GJ									
	温泉熱		GJ		GJ									
	太陽熱		GJ		GJ									
	雪氷熱		GJ		GJ									
	小計 ②													
電気	電気事業者①	1,931.06	千kWh	16,684	千kWh		16,684	921	950	-29				
	電気事業者②※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh									
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh									
	自家発電	太陽光	47.22	千kWh	170	千kWh		170						
		水力		千kWh		千kWh								
		風力		千kWh		千kWh								
		その他		千kWh		千kWh								
小計 ③							16,854	921	950	-29				
合計 ④=①+②+③							34,893	1,986	2,036	-50				

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年度を基準とし、3年間で二酸化炭素排出量を5%以上削減するとの目標を掲げて取組を行った。

令和3年度の二酸化炭素排出量と比べると、8%減少した。

電気量は、節電の呼びかけで二酸化炭素排出量は3%減少した。

目標を達成することができた。

【具体的な取組状況】

検診車の更新。

エグゼムズという電力デマンド抑制装置を導入している。

ウォームビズ、クールビズについて、調整期間を用いて積極的に実施し、室温を25～27度で設定している。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (R5年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用量対前年度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量(A)	排出係数(B)	排出量(A×B)	
ガソリン	48 (7)	109,352 ℥	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	250,430 kg-CO ₂	
軽油	59 ()	223,339 ℥	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	585,029 kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	107 (7)			835,459 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年度を基準として、ガソリンは5%減少、軽油は4%増加した。

検診車は古いのを更新しているが、普通車の業務車両は行えていないことが考えられる。

沿岸地域への道が良くなり宮古での健診は宿泊ではなく日帰りになったこと、Webでの研修、セミナーが増えたことも要因ではないかと考える。

【具体的な取組状況】

昨年度に検診車を2台更新し、燃費が良くなり軽油量の減少が期待できる。

検診車のドライブレコーダーの導入により、運転者の点数を出し、急加速、急ブレーキ、急発進等データ管理によりエコ運転を徹底している。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項